

令和4年度

特別活動全体計画

- * 日本国憲法
- * 教育基本法、学校教育法
- * 学習指導要領、他教育関係諸法規
- * 都、八丈町教育委員会の教育目標

目指す生徒像

- ・自分の可能性を信じ、肯定的に自己を認識できる生徒
- ・失敗を恐れず、何事にもチャレンジする生徒
- ・多様な個性を受け入れ、望ましい人間関係を構築できる生徒
- ・自分の将来について、主体的に考え、行動できる生徒

特別活動の目標

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員として相互理解を深めながら、よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方について自覚を深め、自己の向上を図る。

学校の教育目標

1. 進んで学習する人
2. 礼儀を大切にする人
3. 心身共に健康な人

(教育の基本方針) 特別活動の時間の工夫・改善を図り、生徒の主体的活動を支援する。

生徒の実態

- ・明るく素直で、落ち着いた生活態度で学校生活を送っている。
- ・固定された人間関係の中で、**新しい環境や、自分から相手に働きかけることを苦手とする生徒が多い。**

地域の実態

- ・島嶼部であり、豊かな自然にあふれ、落ち着いた環境である。
- ・保護者には卒業生も多く、学校に協力的である。

保護者・地域の願い

- ・自主的に学習し、思いやりと規範意識のある生徒であってほしい。
- ・地域に愛着をもってほしい。

時代や社会の要請や課題

- ・豊かな人間関係の形成
- ・ICT教育の推進

各教科の指導との関連

- 各教科・科目の学習で獲得した知識・技能、能力や態度を特別活動に生かす。
- 特別活動において集団活動として行うディスカッションや自己表現・発表、共同の取り組みなどを、各教科・科目における「思考力、判断力、表現力」の育成に生かす。
- 集団活動を通して培われる望ましい人間関係を学習環境に取り入れる。

道徳との関連

- 特別活動における集団としての自主的、実践的な活動を通じて道徳的心情、道徳的判断力及び道徳的实践意欲・態度からなる道徳性を養う。
- 「道徳授業地区公開講座」を通じ、家庭や地域との連携を図りながら「心の教育」の充実を図る。

総合的な学習の時間との関連

- 自ら課題を発見し、探求する力を育てる。
- 他者や社会との関わりを通して、「もの」や「こと」への認識を深め、多面的・総合的に考える力を育成する。
- 前向きに社会と関わっていかうとする能力の育成、また地域と共に生きる生徒を育てる。
- 学習を深めていく過程で、生徒が相互に情報を交換し、意見の共有や発表、まとめをする際の手段としてICTを活用する力を育てる。

人権教育との関連

- 望ましい人間関係を育成し、一人一人が充実した学校生活を送ることができるようにする。
- 基礎的・基本的な内容を確実に定着させるとともに、一人一人の個性や能力を伸長させ、進路指導の充実を図る。
- 人権課題の歴史的・社会的背景について正しい認識を深め、その解決を目指す基本的な能力や態度の育成を図る。

指導の重点目標

- 1 学級活動・生徒会活動学校行事における指導の関連性を図りながら推進し、心身の調和のとれた発達を促すとともに、個性の伸張を図り、豊かな人間性を育成する。
- 2 生徒会活動を活性化させ、自らの役割や責任を果たす活動を通して、望ましい人間関係や公共心を育てる。
- 3 学年の枠を超えた活動を積極的に取り入れ、上級生への信頼感と下級生への思いやりの心を育てるとともに、楽しく充実した学校生活を送れる態度を育成する。

1 学級活動	2 生徒会活動	3 学校行事
○望ましい人間関係づくりを通して、より良い学校生活を築き上げようとする意欲を高める。 ○話し合い活動を通して、望ましい集団決定や自己決定をし、実践的に取り組む態度を育てる。 ○人間としての生き方について自覚を深め、事故をいかに防ぐ能力を養う。	○学校生活の充実や改善向上を図る活動など、よりよい学校生活づくりを通して、自発的、自治的な能力を高める。 ○ボランティア活動などの社会参加を通して、社会貢献の精神を育む。 ○全校生徒が生徒会役員としての自覚をもち、より良い校風づくりに尽力できる態度を養う。	○生徒の積極的な参加と協力に基づいた集団活動を通して、所属する学級、学年、学校への帰属意識を高める。 ○学校生活の節目を捉え、秩序ある生活にするとともに、心身の健全な発達を図る。 ○自然体験や社会体験を充実させ、自発的な活動を通して創造性や社会性を育てる。
【指導・活動内容】 (1) 学級や学校生活について 学級組織（班活動、係活動等） 学期ごとの反省、議案書討議、学級会行事への取組 (2) 学業と進路 進路学習（キャリア教育）に関する取り組み、小学校との交流、	【指導・活動内容】 (1) 生徒会の計画や運営 専門委員会、生徒総会、選挙 (2) ボランティア、地域とのかかわり 校庭整備、地域ボランティア (3) 各行事実行委員会 行事の運営	【指導・活動内容】 (1) 儀式行事 入学式、卒業式、始業式、終業式、離任式、修了式 (2) 文化的行事 音楽会、学習発表会、講演会 (3) 体育的行事 運動会、記録会、三年生を送る会

各学年の指導の重点

第1学年	第2学年	第3学年
・ 中学生としての自覚を芽生えさせながら、集団活動を通して学校生活に慣れ、協力して物事に取り組む喜びを味わい、積極的に活動できる意欲を育む。 ・自主的・実践的な態度を育成するとともに、望ましい個性の伸長を図る。	・中堅学年としての立場を自覚させながら、集団の一員としてよりよい生活を築こうとする資質を育成する。 ・集団活動の意義を十分に理解して、諸問題の解決に向けて計画を立て、協働することに自主的実践的に取り組む力を育成する。	・最上級生としての使命感を高めながら、人間として望ましい生き方を模索させ、集団の中で自己を生かす能力と態度を育成する。 ・学級や学校、地域に貢献しながら、自己実現のための進路を切り開く力を育成する。

指導を支える手だて

- * 学級活動や生徒会活動においては、**自発的、自治的な活動を重視し、生徒が自己決定できる場を設定して、自己有用感をもてるよう指導する。**
- * 学校行事や体験的活動において、**事前指導から事後指導までの過程で、生徒の変容を促す手立てを講じる。**
- * **ICT機器を活用し、学習を深めていく過程で生徒が相互に情報を交換したり、意見の共有や発表、まとめをしたりする活動の充実を図る。**